

日本筆記具工業会

〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-3-14 東京文具工業健保会館 1 F

電話 03 (5829) 3848

FAX 03 (5829) 3852

発行:日本筆記具工業会 調査研究広報委員会

URL http://www.jwima.org

新年のご挨拶

日本筆記具工業会 会長 数原 英一郎

2022年の新春にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

筆記具業界の皆様には、新年をお健やかに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。



また旧年中は、日本筆記具工業会に格別のご愛顧、お引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の世の中の動きを振り返って見ますと、国内においては新型コロナウイルスの感染が1月をピークとする第3波、5月をピークとする第4波、8月をピークとする第5波と断続的に拡大と収束とが繰り返されることにより様々な活動が制約され、一昨年に続き経済に大きな打撃を受けました。

一方で新型コロナウイルスに対する有効な手段としてワクチン接種が開発供給元である欧米を中心とした国から開始され、接種の進んだ国々は経済活動が再開し、回復の兆しを見せております。国内においても春から医療従事者への優先接種、その後の集団接種や職域接種なども功を奏し、9月頃から感染数が減少傾向となり10月には緊急事態宣言が全国的に解除されたこともあり、様々な活動が再開の兆しをみせております。しかしながら接種が進まない国においては感染が拡大し、部品製造や物流にも混乱が生じて深刻なモノ不足や物価の上昇などの影響が出始めております。ワクチン

接種が進んだ国においても未接種者への感染に加え接種済み者へのブレイクスルー感染など感染 再拡大をしている一部の国や地域もあり、まだまだ気を抜けない状態が続いております。その様 ななかで私たちは、感染対策をしっかり取りつつ、生産性を上げて活動していかねばなりません。

また、国連総会で採択された SDGs の達成に向けて、大きな目標の一つである環境問題への配慮や対応が企業に求められていますが、2021 年 11 月に開催された COP26 において、我が国は、日本の気候変動対策の長期目標である「2050 年カーボンニュートラル」の実現に向けて総力を挙げて取り組んでいく決意を表明しております。また国は「プラスチック資源循環法」を2022 年 4 月に施行することを決定しております。この制度は、主にプラスチック廃棄物の抑制とリサイクルの促進等を目的に制定されており、プラスチックを主たる材料として使用している我々筆記具業界においても対応を進めて行くことが社会貢献につながると考えております。既に私たちはエコマークやグリーン購入法適合商品の充実化を行っておりますが、製品及び容器・包装の環境配慮設計に更に本格的に取り組んでいき、その内容を周知していく活動をしなければなりません。

筆記具工業会では、環境配慮設計ガイドラインを策定する準備委員会を発足し活動をしております。SDGs への取組みは多岐にわたり、企業単独で取り組むには大きな課題であり、また経済合理性なども考慮して活動する必要があると思います。「誰一人も取り残さない」という SDGs の理念のもとに文具業界全体が協力して研究し、経済合理性とのバランスをはかりながら社会的責任を果たしていくことで、参加企業の持続可能な成長につながることを期待しています。SDGs

や環境配慮設計についてはすでに積極的に取り組んでいる企業も多いと思いますが、それら企業の知見を集約しながら行政とも連携をとり、委員会や部会の活動を進めていく所存です。

筆記具工業会は、販売店の皆様が、会員各社の優れた筆記具を安心してユーザーにお届けいただけるように、製品安全に向けての対応、環境対応、あるいは知的財産権の擁護など従来の各事業も、関係団体や行政との連携を図りながら積極的に推進してまいる所存でございますので、会員企業並びに当工業会により一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、筆記具業界関係者の皆々様のますますのご発展を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶と させていただきます。

「プラスチック資源循環促進法」に対する取り組みについて(事務局より)

2021年6月の国会で標記法律が成立し2022年4月より施行されます。簡単に言いますと素材として非常に便利なプラスチックをより有効に使おう、出来たら減らそうということです。その方法は、石油由来のものでない素材を使ったり、一度使用したプラスチックをゴミとして捨てるのではなく回収して再生したり、何度でも中身を詰め替えて長く製品を使用するなど、その方法は様々です。

再生プラスチックの使用や詰め替え式の製品などは筆記具業界ではエコマーク認定商品やグリーン購入法適合商品で既にやってきたことであります。筆記具で使用するプラスチックは、日本のプラスチック全体の消費量の1%にも満たない量ですが、非常に先進的な業界であります。

今回、環境省や経済産業省が新しく考えておりますことの一つは、各事業者が世の中に送り出したプラスチック製品を事業者自らが回収して再生利用することが推奨されていることです。すでにシステマチックに動いている行政の資源回収を利用することもできるかもしれませんが、そのためには一つの製品の部品を少なくしたり、使用するプラスチックの種類を少なくしたり、しかも再生のために分解を容易にしたりする企業努力が求められます。その企業努力を後押しするために、業界で「環境配慮設計ガイドライン」の作成が求められているわけです。

我々の作り出す筆記具は、丈夫で使いやすく、安全で価格が適正であることが求められております。 そのため単にこの法律を順守するのではなく、日本の筆記具の優秀性と会員企業の繋栄の継続を考えながら実施方法を慎重に考えなければなりません。そのために、筆記具工業会ではまず、経営に知見のある総務委員会を中心として「環境配慮設計ガイドライン準備委員会」を立ち上げました。今後、方針や実施案が決まりましたら会員の皆様にご報告とともにご意見を頂戴するつもりです。また最終的なガイドラインが決定しましたら、全文協とともに「文具における環境配慮設計ガイドライン」として発表される予定です。現在までの活動状況を次の項でご紹介します。

プラスチック資源循環促進法成立後の動向

2021年3月9日

"プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律"(プラ新法又はプラスチック資源循環促進法)が閣議決定。

2021年5月21日 衆議院環境委員会でプラ新法を審査・可決

2021年5月25日 衆議院本会議でプラ新法を審議・可決

2021年6月3日 参議院環境委員会でプラ新法を審査・可決。2021年6月4日 参議

院本会議でプラ新法を審議・可決。*法案成立*

2021年8月23日 プラスチック資源循環小委員会(第10回合同会議)にて、

ブラ新法の政省令・告示について審議

2021年10月8日 プラ新法政省令・告示に関するパブリックコメント(11/7締め切り)

2021年11月22日 プラスチック資源循環小委員会第11回合同会議 で内容承認

パブリックコメント提出262件:意見に対する回答 127件

2021年12月 ブラ新法政省令・告示 公布

2022年4月1日 プラ新法施行(予定)

「プラスチック資源循環促進法」 環境配慮設計ガイドライン準備委員会 第1回(2021年10月29日)

経済産業省の法案作成担当者ら3名をお招きして「環境配慮設計ガイドライン」をどうつくるか勉強会を実施しました。オプションがたくさんあり、すべてをやるべきなのか、どの程度やればいいのか、その辺のさじ加減が難しいところです。総務委員だけでなく、その補佐役として環境政策に詳しい社員の同伴もお願いし、法律の趣旨を勉強しました。以下が説明内容の抜粋です。

<経済産業省 「環境配慮設計ガイドライン」説明資料>

(1) 構造

① 減量化

プラスチック使用製品の減量化を図るため、材料・部品、さらには製品全体として、できるだけ使用する材料を少なくすること等を検討すること。

② 包装の簡素化

プラスチック使用製品の包装について、製品自体の保護や運搬・輸送時における効率化等を目的とすることが多い包装に関してその目的の達成を維持しながら過剰な包装を抑制することを検討すること。

③ 長期使用化・長寿命化

プラスチック使用製品が長期間使用されるために、強度、耐摩耗性、耐候性等の高い材料の使用や耐久性の高い部品の使用等により、製品全体の耐久性を高めること、製品を繰り返し使用に耐えるものとすること、寿命の短い部品や消耗部品を使用する場合には、その部品を容易に交換できる構造とすること等を検討すること。 また、製品が壊れた場合、容易に修理することができるような設計を検討すること。

④ 再使用が容易な部品の使用又は部品の再使用

プラスチック使用製品が使用された後等の部品の再使用を可能とするため、再使用が容易な部品を使用すること等を検討すること。また、プラスチック使用製品廃棄物の排出を抑制するため、部品の再使用について検討すること。

⑤ 単一素材化等

プラスチックの再生利用を促進するために、単一素材又は使用する素材の種類等が少なく設計されたプラスチック使用製品は、複合素材で設計されたプラスチック使用製品に比べて、より多様な再資源化が行いやすいこと等を踏まえ、設計に当たっては、製品全体又は部品ごとの単一素材化等の実施について検討すること。

⑥ 分解・分別の容易化

プラスチック使用製品が使用された後等の部品の再使用又は再生利用の促進やプラスチック使用製品廃棄物の処理の容易化を図るため、部品ごとに容易に分解・分別できるような設計を検討すること

⑦ 収集・運搬の容易化

プラスチック使用製品又は部品について、プラスチック使用製品が使用された後等には、可能な限り収集・運搬を容易にするような重量、大きさ、形状、構造となるよう検討すること。

⑧ 破砕・焼却の容易化

プラスチック使用製品が使用された後等には、部品の再使用又は再生利用が可能な部品を分離できることが望ましいが、これに対応できない部品や再使用又は再生利用が難しい部品等については、プラスチック使用製品廃棄物の減量化及び無害化、又はプラスチック使用製品廃棄物からの熱回収等を目的として、破砕や焼却による処理が行われることを考慮し、破砕や焼却の容易化に配慮することを検討すること。

(2) 材料

① プラスチック以外の素材への代替

プラスチックの使用量を削減するため、プラスチック以外の素材への代替について 検討すること。

② 再生利用が容易な材料の使用



プラスチック使用製品が使用された後等の再生利用を促進するため、再生利用が容易な材料を使用し、かつ、材料の種類を減らすこと等を検討すること。また、再生利用を阻害する添加剤等の使用を避けることについて検討すること。

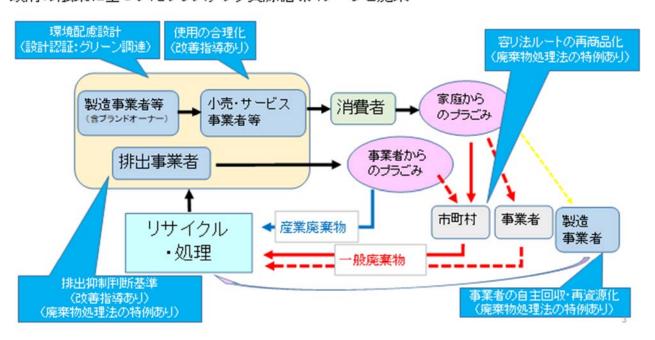
③ 再生プラスチックの利用

プラスチックの再生利用を促進するため、再生プラスチックの利用について検討すること。 なお、再生プラスチックの含有率等を表示する場合には、第三者による認証制度等を活用し、信頼性を担保することが有効である。

④ バイオプラスチックの利用

化石資源由来のプラスチックの使用量を削減するため、植物などの再生可能な有機資源を使用しているバイオマスプラスチックの利用について検討すること、また、やむを得ず自然環境中に流出することの多い製品については、生分解の機能が発揮される条件を考慮した上で、生分解性プラスチックの利用について検討すること。 なお、バイオプラスチックの含有率等を表示する場合には、第三者による認証制度等を活用し、信頼性を担保することが有効である。

政府の法案に基づいたプラスチック資源循環イメージと施策



法令が及ぼす影響

| | | | 3.H **** ()1. 31.0 \(\) 100 \(\) 2.4 \(\) 3 | | | |
|-------------------------|---------|------------------|--|--|--|--|
| | 製品製造事業者 | 小売」事業者 | 備考 | | | |
| 環境配應設計 | 〇(義務なし) | × | ・政府の優先調達基準 〈グリーン購入法〉 | | | |
| 使用の合理化 | × | 〇(義務あり: 改善指導) | ・コンビニのプラスプーン、フォー ク等、容り法対象外のシングル ユースプラスチックの削減 | | | |
| 容U法ルートを活用した 市町村の分別回収 | 〇(義務 | なし) | ・リサイクル業者が代行可能 ・自治体が費用負担 | | | |
| 自主回収 | 〇(義務なし) | 〇(義務なし) | ・認定取得で廃棄物処理法の 適用なく回収可能 | | | |
| 排出抑制 | ○(義務あり: | 改善指導) | ・リサイクル業者が代行可能 ・認定取得で廃棄物処理法の適 用なく実施可能 | | | |

義務があるのは小売業者にとっての"使用の合理化"と製造事業者にとっての"排出抑制"他は義務ではない。政省令・告示についてもこの点を考慮した内容となっている。

環境配慮設計ガイドライン準備委員会 第2回(2021年12月23日)

筆記具の環境配慮設計とはどうあるべきか、何ができるかということについて、慎重に話し合いました。おおむね各委員の意見は共通しており、工業会全体の意見を反映するものと考えられますので、下記の点に沿って、次回から具体的に作成作業に入ることとなりました。

- (1)会員各社は、世間の動向を巧みに察知し、環境対応商品が消費者のニーズに合っているということであれば、新商品の開発という形で法の趣旨は自然と実現されるだろう。
- (2) 前述の経済産業省の指針を基に、業界にあったものを絞り込んで優先順位をつけて各社の開発 指針となるようなものを作ろう
- (3) 今まで業界全体で取り組んできたエコ商品についてもっと世間に周知し、業界の努力をアピールしよう。
- (4)経済産業省は業界での環境配慮において優秀な製品を「トップランナー」として認証する制度 も作るので、工業会としても各企業の環境対応新製品の開発を奨励しよう。

今後これに沿った形でガイドラインを作成していきますが、基本は各会員企業独自の環境保護に沿った新製品開発ですので、今まで以上の奮励努力をお願いいたします。

ガイドラインの完成版は文具全体として全文協の指針(筆記具以外)と合体され発表されます。

中間理事会が開催されました

(20周年記念祝典は25周年に延期)

第2回理事会が書面審議として、2021年11月15日~末日に開催され、上半期の活動報告や中間期決算が承認されました。

また当工業会創立20周年として2021年に開催が企画され新型コロナの影響で中止された記念祝典は、創立25周年として2026年をめどに、後年、また改めて議論することになりました。

2022年 6月の総会日程が決定

(2022年6月1日(水曜) 上野精養軒にて)

2022年度総会は、2022年6月1日(水曜)、17時より、上野精養軒にて開催されることが決定しました。新型コロナはおそらく収束しており3年ぶりの開催が見込まれます。

ただし、ソーシャルディスタンスを守るために、従来の立食形式はやめ、円卓に少人数でゆったり着席しての会食となります。





通常の委員会・部会の活動の様子 (2021年4月から)

<お客様相談室連絡会> 2021年11月24日 ほか1回実施





<製品安全小委員会>2021年11月24日 ほか2回実施





<万年筆 JIS 改正本委員会>2021年10月14日 分科会合わせ7回実施(うち1回書面審議)





<鉛筆削り JIS 改正本委員会>2021年7月30日 分科会合わせ2回実施







2021年11月30日(火)

8 億 963 数字は語る 万00本 日本の筆記具 実は世界をリード

ボールペンの輸出数量



計)だった。これは販売 3万7千本(財務省貿易統 ある。業界の主力となって 側面が大きい。 は2020年、8億696 いるボールペンの輸出数量 たる。筆記具は輸出産業の (出荷)数量の約6割にあ 「筆記具についていう

と、欧米ではたいして新し いものをつくりません。当

のモノ」の一つに筆記具が 海外で受けている「日本 田栄専務理事(64)。

ン) は06年、フランスを中 イロットコーポレーショ ペン「フリクション」(パ 大ヒットの消せるボール

と、日本筆記具工業会の吉 は、日本ぐらいなんです」 して新製品を出しているの 然のようにいろいろと工夫 う。勉強するにも修正ペン など複数のペンを持つ必要

か、というのが一つの見方 く。この多様さが筆記具 な、アルファベットも書 異なり、日本は漢字に、か リードしている。日常がア にこだわる理由ではない ルファベットだけの欧米と る日本のメーカーは世界を 品質や性能を追求し続け 日本でも発売され、世界で ンがあれば便利では、との 累計売り上げ30億本を誇 があった。そこで消せるペ 発想が生まれた。07年に ボールペン、マーキング

輸出も国内需要も減った。 停滞やインバウンド消失で もほぼ横ばい。だが、コロ んやクレヨン、修正液など ナ禍の20年は、社会活動の だった。シャープペンのし をあわせた筆記具類全体で 年を販売金額でみても堅調 ペン(サインペン、蛍光ペ ンほか) は、19年までの5

たちまち評判になった。 ら万年筆やボールペンを使 心に欧州で先行販売され、 欧州では子どものころか 全体の販売金額は約133

鉛筆の広報担当。巣ごもり ちがいるようだ。 った楽しみに気づいた人た スでほぼ倍増です」と三菱 国内外をあわせた数量ベー なサインペン「ポスカ」 0億円と2割ほど落ちた。 向きの商品もある。ポスタ ーカラーのように色鮮やか で、絵を描く、DIYとい (三菱鉛筆) がそうだ。 「19年と比べて現時点で、 そんな中で売り上げが上

とから離れられない。 も、人は自身で「書く」こ Sが花盛りの時代にあって 出てきた」(吉田専務理 事)。ペーパーレス、SN 筆記具という新たな需要が のためだけでなく、趣味の 「このごろは仕事や勉強

(隈部康弘)

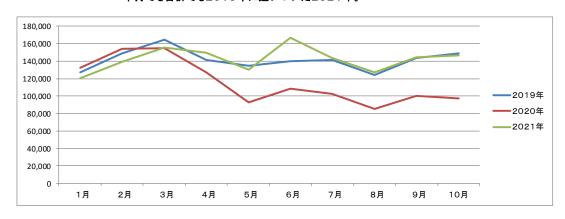
「新聞に掲載

筆記具の輸出を一 一般の人は知らなかったようです

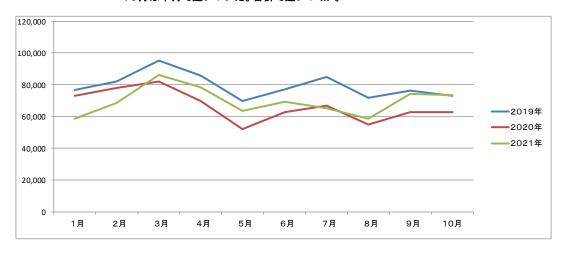
2019~2021年 月別販売数量比較 (1月~10月) 2019年に追いつけ!!

| 繊維・生活用品統計(旧雑貨統計)より ※国内向け販売と輸出向け販売を含む。出荷と同じ。 | | | | | | | | | 単位: 千本 | | | |
|--|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 品種•年/ | /月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 計 |
| ボールペン | 2019年 | 127,094 | 148,618 | 164,678 | 141,719 | 134,543 | 140,219 | 141,583 | 123,893 | 143,313 | 148,738 | 1,414,398 |
| | 2020年 | 132,397 | 153,753 | 155,071 | 126,896 | 92,409 | 108,287 | 102,151 | 85,538 | 99,880 | 97,066 | 1,153,448 |
| | 2021年 | 120,776 | 138,797 | 155,860 | 149,400 | 129,814 | 166,537 | 143,807 | 126,850 | 144,580 | 146,574 | 1,422,995 |
| 品種•年/ | /月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 計 |
| マーキングペン | 2019年 | 76,570 | 82,264 | 95,310 | 85,596 | 69,647 | 77,083 | 85,028 | 71,899 | 76,201 | 72,896 | 792,494 |
| | 2020年 | 73,237 | 77,834 | 82,231 | 69,804 | 52,295 | 62,828 | 66,750 | 55,108 | 62,837 | 62,990 | 665,914 |
| | 2021年 | 58,597 | 68,366 | 86,081 | 78,200 | 63,531 | 69,265 | 65,183 | 58,665 | 74,321 | 73,503 | 695,712 |
| 品種•年/ | /月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 計 |
| シャープペンシル | 2019年 | 9,925 | 11,761 | 13,532 | 9,745 | 9,075 | 10,182 | 9,700 | 8,781 | 8,599 | 8,852 | 100,152 |
| | 2020年 | 9,741 | 11,482 | 9,345 | 7,574 | 7,303 | 7,816 | 6,300 | 5,587 | 6,659 | 7,650 | 79,457 |
| | 2021年 | 7,022 | 8,619 | 9,897 | 9,290 | 7,555 | 8,513 | 7,827 | 6,147 | 6,903 | 8,327 | 80,100 |

(1)ボールペン 単月でも合計でも2019年に追いついた2021年。



(2)マーキングペン 10月は単月で追いついた。合計で追いつくか。



(3)シャープペンシル 10月は単月でかなり2019年に近づいた。合計でどこまで近づけるか。

